



下線部：2017年7月改訂

第2類医薬品

ご使用に際して、この説明文書を必ずお読みください。
また、必要な時読めるよう大切に保管してください。

かぜ薬

ストナアイビー

熱、のどの痛みに

- ストナアイビーは、解熱・鎮痛作用にすぐれたイブプロフェンを配合した総合かぜ薬です。
- イブプロフェンは、かぜに伴う発熱・頭痛・のどの痛み・悪寒・関節の痛み・筋肉の痛みなどに効果をあらわします。
- 小粒でのみやすい、うすいオレンジ色の錠剤です。

⚠ 使用上の注意

❌ してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなります)

1. 次の人は服用しないでください
 - (1) 本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
 - (2) 本剤又は他のかぜ薬、解熱鎮痛薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。
 - (3) 15歳未満の小児。
 - (4) 出産予定日12週以内の妊婦。
2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も使用しないでください
他のかぜ薬、解熱鎮痛薬、鎮静薬、鎮咳去痰薬、抗ヒスタミン剤を含有する内服薬等
(鼻炎用内服薬、乗物酔い薬、アレルギー用薬等)
3. 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないでください
(眠気等があらわれることがあります。)
4. 授乳中の人は本剤を服用しないか、本剤を服用する場合は授乳を避けてください
5. 服用前後は飲酒しないでください
6. 5日間を超えて服用しないでください

🗨 相談すること

1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者にご相談ください
 - (1) 医師又は歯科医師の治療を受けている人。
 - (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
 - (3) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。
 - (4) 次の症状のある人。
高熱、排尿困難
 - (5) 次の診断を受けた人。
心臓病、肝臓病、腎臓病、緑内障、全身性エリテマトーデス、混合性結合組織病、呼吸機能障害、閉塞性睡眠時無呼吸症候群、肥満症
 - (6) 次の病気にかかったことのある人。
胃・十二指腸潰瘍、潰瘍性大腸炎、クローン病
2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者にご相談ください



関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ、青あざができる
消 化 器	吐き気・嘔吐、食欲不振、胃痛、胃部不快感、口内炎、胸やけ、胃もたれ、胃腸出血、腹痛、下痢、血便
精神神経系	めまい
循 環 器	動悸
呼 吸 器	息切れ
泌 尿 器	排尿困難
そ の 他	目のかすみ、耳なり、むくみ、鼻血、歯ぐきの出血、出血が止まりにくい、出血、背中・のどの痛み、過度の体温低下、からだがかたくなる

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群 (スティーブンス・ジョンソン症候群)、 中毒性表皮壊死融解症	高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤等が持続したり、急激に悪化する。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。
腎 障 害	発熱、発疹、尿量の減少、全身のむくみ、全身のだるさ、関節痛(節々が痛む)、下痢等があらわれる。
間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれ、持続したりする。

症状の名称	症 状
無菌性髄膜炎	首すじのつっぱりを伴った激しい頭痛、発熱、吐き気・嘔吐等があらわれる。(このような症状は、特に全身性エリテマトーデス又は混合性結合組織病の治療を受けている人で多く報告されている。)
ぜんそく	息をするときゼーゼー、ヒューヒューと鳴る、息苦しい等があらわれる。
再生不良性貧血	青あざ、鼻血、歯ぐきの出血、発熱、皮膚や粘膜が青白くみえる、疲労感、動悸、息切れ、気分が悪くなりくらっとする、血尿等があらわれる。
無顆粒球症	突然の高熱、さむけ、のどの痛み等があらわれる。
呼吸抑制	息切れ、息苦しさ等があらわれる。

3. 服用後、次の症状があらわれることがありますので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者にご相談ください
便秘、口のかわき、眠気
4. 5～6回服用しても症状がよくならない場合（特に熱が3日以上続いたり、また熱が回復したりするとき）は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者にご相談ください

【効 能】

かぜの諸症状（発熱、頭痛、のどの痛み、せき、たん、鼻水、鼻づまり、くしゃみ、悪寒、関節の痛み、筋肉の痛み）の緩和

【用法・用量】

下記の1回服用量を食後なるべく30分以内に服用します。

年 齢	1 回服用量	1 日服用回数
大人（15 歳以上）	2 錠	3 回
15 歳未満	服用しないでください	

【用法・用量に関連する注意】

(1) 定められた用法・用量を厳守してください。

(2) 錠剤の取り出し方

右図のように錠剤の入っている PTP シートの凸部を指先で強く押して裏面のアルミ箔を破り、取り出しをお飲みください。
(誤ってそのまま飲み込んだりすると食道粘膜に突き刺さる等思わぬ事故につながります。)



【成分・分量と働き】 6 錠中

成 分	分 量	働 き
イブプロフェン	450mg	発熱・頭痛・のどの痛み・悪寒・関節の痛み・筋肉の痛みを抑えます。
ジヒドロコデインリン酸塩	12mg	せきの症状をやわらげます。
グアヤコールスルホン酸カリウム	250mg	たんをうすめて出しやすくします。
ジフェニルピラリン塩酸塩	4mg	くしゃみ・鼻水・鼻づまりをやわらげます。
無水カフェイン	75mg	熱や痛みをとる成分の働きを助けます。

添加物として、ヒドロキシプロピルセルロース、トウモロコシデンプン、乳糖、リン酸水素Ca、無水ケイ酸、ショ糖脂肪酸エステル、ヒプロメロース、ヒプロメロースフタル酸エステル、酸化チタン、ポリオキシエチレンポリオキシプロピレングリコール、黄色5号を含有します。

◎保管及び取り扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。
- (2) 小児の手の届かない所に保管してください。
- (3) 他の容器に入れ替えないでください。
(誤用の原因になったり品質が変わるおそれがあります。)
- (4) 使用期限または配置期限をすぎた製品は、服用しないでください。



◎早くよくなっていただくためのアドバイス

1. **睡眠**をとり無理をしないことが治療の第一歩。特に熱がある時、せきが出る時には、できるかぎり仕事や家事を休み、床につきましょう。
2. **衣服や寝具**は体をあたたかく保てるものを。もちろん部屋もあたため、なるべく湯気をたてて空気の乾燥を防ぎましょう。
3. **汗**をかいたらタオルでふいて、下着をとりかえ、体を冷やさないようにしましょう。
4. **食事**はあたたかいもの、水分やビタミンの多いもの、カロリーの高いもの、消化のよいものを取りましょう。



副作用被害救済制度のお問い合わせ先
(独)医薬品医療機器総合機構
http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai/index.html
電話 0120-149-931 (フリーダイヤル)

本製品についてのお問い合わせは、
お買い求めのお店又は下記にお問い合わせください。
佐藤製薬株式会社 お客様相談窓口
電話 **03-5412-7393**
受付時間 9:00～17:00(土、日、祝日を除く)

製造販売元
佐藤製薬株式会社
東京都港区元赤坂1丁目5番27号

